

ふたばっ子とともに

R5. 5. 16

令和5年度がスタートして、もうすぐ1か月半です。

大変遅くなりましたが、「校長通信」の本年度第1号を発信します。

昨年度のように、双葉小の子供たちの日々の姿や教育活動を捉えて、

- ① 子供たちの成長やがんばりが感じられた瞬間
- ② 子供たちに学んでほしいこと（教職員の思いや願い）
- ③ 保護者や地域の皆様と共有・協力していきたいこと

などを中心にお伝えしながら、この「校長通信」のページを進めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

今回は、5/27(土)に行う「チャレンジタイム」について、5/8(月)の朝会で子供たちに話した内容を中心にお伝えします。

「なりたい自分」を目指して

—前略—

さて、みなさん・・・5/27(土)に計画されている行事は何でしょう。

そう「ふたばっ子チャレンジタイム」ですね。今月、全校みんなで頑張る「こと」になります。

以前は、「運動会」と呼んでいました。ふたばっ子チャレンジタイムは、どんなことをするのか。2年生以上のおなさんは、わかりますね。

走ったり、投げたり、跳んだり…と、いろいろな運動で体を動かして、競い合ったり、自分たちのベストタイムに挑戦したりする行事です。

そのチャレンジタイム…今年は、少し違います。

もちろん、もともとは「運動会」と呼んでいたのですから、「日ごろの体育や運動で付いた力」を確かめたり、その力で楽しんだりする行事であることは、変わりません。

ふたばっ子
チャレンジ
タイム

では、何が違うのでしょうか。

それは…。もう、それぞれの担任の先生や学年団の先生に聞いたかもしれませんが、今年のチャレンジタイムの一番の目的は、「学級づくりと仲間づくり」です。つまり、いろいろな種目で競い合ったり、力を合わせて準備や練習をしたりする中で、友達とのつながりを深め、より良い学級づくりに生かしたり、自分や友達のことをよく知って、仲間の輪を広げたりしていくことが目標なのです。



そのために…と、今、チャレンジタイムに向けて、クラスや学年団で種目の話し合いを進めているのではないのでしょうか。おそらく5、6年生は、これからチャレンジタイムを運営するための、係の仕事分担も決まって動き始めると思います。

さあ、あなたは、どんなチャレンジタイムにしたいと考えていますか。

競技や演技で、力いっぱいがんばるのはとても大事なことです。また、練習から当日まで「活動が楽しい」と感じられるのも大事だと思います。そして、チャレンジタイムをみんなが楽しめるように、活動がうまく進むようにと、係の仕事や自分の役割に力を注ぐのも大切なことです。さらには、なかなか練習や準備がうまく進まなくて、悩んだり困ったりすることや、「どうしたらうまくいくか」と自分で方法を考えたり、仲間と作戦を練ったりすることも大事なことで、先生は思います。

つまり、このチャレンジタイムを通して、みなさんが、考えたり、決めたり、動いたりすることは、全部、大事なことになります。なぜなら、経験するすべての「こと」が、みなさん一人一人の力に変わっていくからです。

では、ここで質問です。

- ①あなたは、このチャレンジタイムで、どんな力を付けたり、伸ばしたりしたいですか。
- ②あなたは、チャレンジタイムを終えたら、どんな人になりたいですか。
- ③あなたのクラスは、チャレンジタイムを通して、どのようなクラスにしていきたいですか。

どんな力を
付けたい？
伸ばしたい？

どんな人
になりたい？

どんなクラスに
したい？
なるといい？

まずは「なりたい自分」「なりたいクラス」をしっかりとイメージしてください。次は、そうした「自分」や「クラス」にするために、僕は、私は、チャレンジタイムの準備や練習、そして本番当日に「何をするか」「何ができるか」を考えて、実行してください。もし、あなたがチャレンジタイムのために、「すること」や「できること」が、あなたの「やりたいこと」と重なっているならば、そんなに素敵なことはありませんね。

なりたい自分^{じぶん}

なりたいクラス

さあ、ふたばっ子チャレンジタイムで、あなたが、あなたのクラスがどんな力を付けたり、伸ばしたりしていくのか、またどんな人になっていくのか、どんな学級に変わっていくのか…楽しみにしています。

5月も様々な「ひと・もの・こと」と「ともに」がんばりましょう。

4/22のPTA総会で行った「学校教育方針の説明」でお伝えした通り、子供たちの「自分が『やりたい』と考えたり決めたりしたことならば、多少の困難が生じても前向きに、粘り強く取り組むことができる」という力を活かして、今年度は、様々な活動を展開していきます。

手始めとして、全校で取り組む行事である「チャレンジタイム」は、子供たちの思いを集め、子供たちが「これがやりたい」と各学年団で考えた種目を入れて実施することにしました。

まず、学年団(1・2年、3・4年、5・6年)それぞれに、この行事の目的である「学級づくり・仲間づくり」のために「どんなことをやりたいか」「やると良いと考えるか」と問い掛けました。

そして、2学年の子供たちが真剣に話し合っ種目が決まりました。もちろん低中学年の子供たちは、まだまだすべてを「自分たちで」という段階ではありませんので、教員がある程度の選択肢を提示したり、子供たちの考えを微調整したりしながら進めていきます。それでも、一番大切にするのは「子供たちの思い」です。

ただ、当然、教育活動の一つとして実施する活動ですから、教員側は、その活動を通して子供たちに身に付けさせたい力や伸ばしたい力、身に付けてほしい力等を押さえています。したがって、手放しの状態で、子供たちが自由勝手に進めていくわけではなく、必要に応じて、教員の見守り、助言、支えを受けながら、子供たちと教員、両方の思いや願いがかなえられる「チャレンジタイム」となるように進めていきたいと考えています。

おそらく、子供たちは、実際に「やりたいこと」へ挑戦してみたら、準備や練習の段階で、最初にイメージしたものとは少し違うことに気付く、それに伴って様々な課題や壁が出てくると思います。子供たちが、それらをどのように乗り越え、当日につなげていくのか。子供たちは、スタート地点で思い描いた「やりた

いこと」に近付けるために、あるいは取組の中で見えてきた「さらに良いもの」に仕上げていくために、主体的に自分が「すること」を考えたり、自分たちが「できること」を実行したりしていただけるのか。また、教員が、子供たちの思いを大切にしながら、より効果的なタイミングで、適切なサポートをしていただけるのか。今年度の「チャレンジタイム」は、子供たちも教員も、当日まで「ドキドキ、わくわく」しながら、楽しむことができるのではないかと思います。

なに
何をするか
なに
何ができるか

そして、一番の楽しみは「チャレンジタイム」を終えた後、子供たち一人一人が、また、それぞれのクラスが、どんな力を手にしたのか、どのようなところが成長したのかを、子供たちとともに確かめられることです。

行事に向かう時は、普段の生活と違って、不安や心配の大きくなる子もいます。その子供たちの心のケアを十分に行いながら、学び多き「チャレンジタイム」となるように進めていきたいと思っています。

【タイトルに寄せて】

校長室より発信するたよりは「ふたばっ子とともに」です。

本校では、令和5年度のキーワードも「ともに」と押さえました。

「双葉小学校の子供たちを中心に、それを育て、見守る教職員、保護者や地域の皆様、活動を支えていただく方々…双葉小学校に関わる全ての人と『ともに』新たな時代を築き、明るい未来に向かって『ともに』歩んでいきたい」そんな願いを込めて、このタイトルを付けました。
一年間よろしく申し上げます。